

日本列島の地震

－阪神淡路大震災と東日本大震災,そして能登半島地震で起こったこと－

5月8日に第三支部のオンライン研修「日本列島の地震」(GEOシリーズ第5弾)を実施しました。関心の高いテーマで、参加人数は48名(正会員34名、賛助会員2名、非会員9名、運営委員3名)でした。うち29名の方が当日ライブで参加されました(正会員20名、賛助会員2名、非会員4名、運営委員3名)。

録画視聴は5月29日から6月19日となります(ご参加の方全員に視聴URLをお送りします)。

講師には地球年代学ネットワークの先山徹先生をお迎えし、「西日本のたたら製鉄と鉄穴流しがもたらしたもの」(2022年)、「城の石垣・石材から見えること」「山陰海岸のカニはなぜうまいのか?—日本海の成り立ちが生んだ海の幸」(2023年)に引き続き、私たちの興味を広げていただきました。

今年元旦に発生した能登半島地震を中心に、地震の事象や発生メカニズムを解説いただきましたが、報道等とはまた違った注目点からのお話で、知らなかった事がたくさんありました。写真や図をたくさんご準備いただき、実際にその場に行かれた際の様子なども解説いただきました。また、液状化や、砂がまきあがる現象について、ペットボトルを使った実験の様子も見せていただきました。

自然科学の面からも、日常生活の面からも、危機管理や防災減災の面からも大きな関心事項であり、参加者からも幅広い筆問が出されました。

詳しい報告は会報トラベルコンパニオン誌に掲載予定です。

運営委員 森田明、金光裕子、伊藤淳子